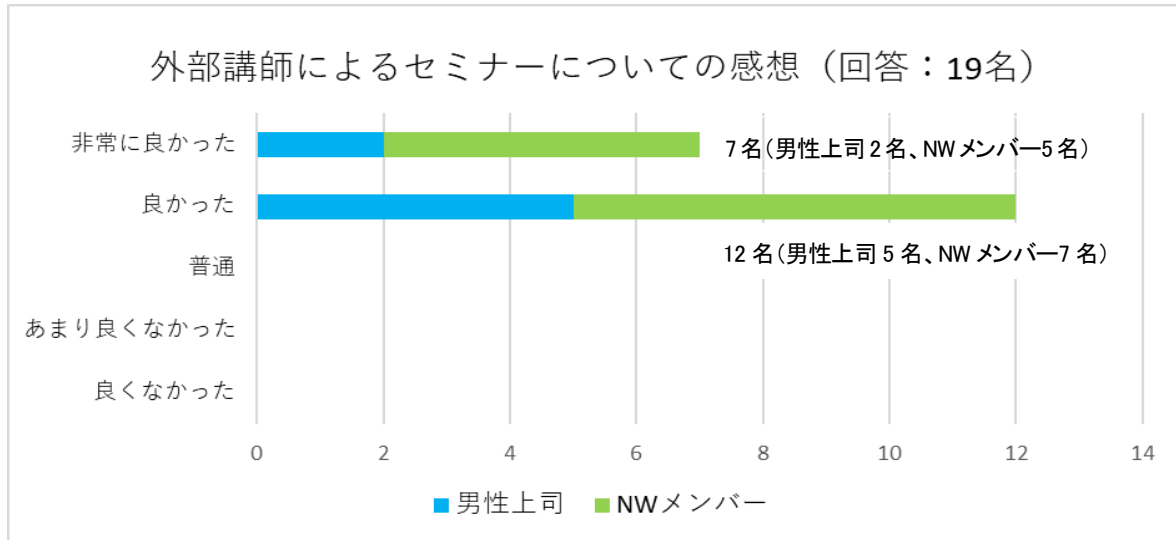


女性活躍推進セミナー[2022/9/16(金)]：参加者アンケートの結果

(セミナー参加者 21 名のうち、アンケート回答 19 名)

1. セミナーを受講した感想について

1) 【第 1 部：外部講師（秋葉佳宏 氏）によるセミナー】



「外部講師セミナー」についての感想の詳細

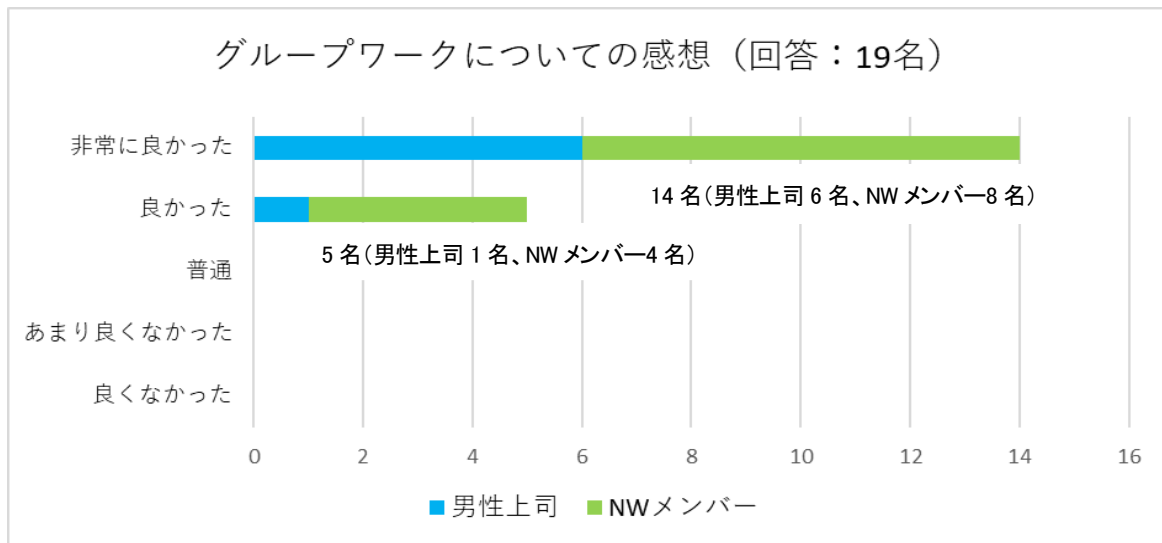
■ 外部講師セミナーについての感想：男性上司からの主な回答

- ・偏見、色眼鏡で見る事は良くないという認識はあったが、アンコンシャスバイアスというものは必ず誰もが持ち合わせており、それを認識した上で対処していくという学びがあった。
- ・短時間ではあったものの成功事例やデータを踏まえた具体的な話を伺うことができ、ポイントを押さえた内容でためになった。
- ・自社での取り組みや組織風土などを改めて考え直しやすい機会となった。
- ・普段の業務で男女差を意識する事が無かったが、今は職場環境や普段の生活の中で、女性に対する「アンコンシャスバイアスはある」と思うようになった。今後はもっとジェンダーについて勉強したいとも思い、今回のセミナーによる気づきが多く、とても為になったと感じている。

■ 外部講師セミナーについての感想：NWメンバーからの主な回答

- ・アンコンシャスバイアスの対処法を学べたことが良かった。また、同質でない人とのコミュニケーションでは、対女性社員にかかわらず、仕事をする上での相手とのアプローチ方法がまとめられており、大変勉強になった。
- ・社会環境情報は、基本中の基本データとして活用できるし、コミュニケーションに関するポイントは例題も分かりやすく、即実行できるものとして活用できると思った。
- ・属性ではなく個人で確認していくという意識は、上司だけが取り組む問題ではなく、職場の人皆がそういう意識をもてればよいと思った。（男性上司と女性部下、両方の立場からの話題を聞くことができた）
- ・女性活躍についての他社事例が非常に興味深かった。他社の課題や取組を知ることで、自社の現状や課題を今後は自分事として考えていけるような気がしている。

2) 【第2部：グループワーク】



「グループワーク」についての感想の詳細

■ グループワークについての感想：男性上司からの主な回答

- ・参加していた方たちの生の声が聞けたことや、同じ上司としての考え方も様々であり、新鮮であった。また、性別の概念に偏った部分があると自覚もできた。
- ・日常の仕事の中で、会話する事に対する発言の真意やそれを相手がどう考え感じているかを率直に話し合うという経験はなく、今回のような機会が無ければ今後も経験できないと思った。
- ・利害関係が無いので女性参加者の率直な意見を聞いて良かった。男性上司の声のかけ方一つで肯定的になったり、前向きに仕事を取り組んでもらえるなど、参考になる部分が多々あり、有意義な時間を過ごす事ができた。
- ・女性、男性同僚、上司の三者それぞれの考え方や感じ方がある事を勉強出来た。また、今まで「女性だから〇〇」と判断されるケースは、現代ではほとんど無いだろうと思っていたが、実はまだ多くあるのではないかと、今回のグループワークを経験してから、考えが変化した。また、実際に色々な女性側の話を聞く機会を頂いたことは、大変勉強になった。
- ・まだまだ形式ばっていた感じがするので、継続できればもっと良くなると思う。

■ グループワークについての感想：NWメンバーからの主な回答

- ・メンバーそれぞれの発言が、自分事（現場の状況／自身の立場）で考えられている内容であり、非常にためになった。明日から活かせるような内容が多かった。
- ・和やかな中にも、率直・思慮深く・良いアイデア満載の意見が多く出され、楽しく充実した時間になったと思う。前半のセミナーも参考にしながら、自分たちで考え意見を出し合い、他のグループの意見も聞くことで、各社の次のアクションにつながると思う。バルブ工業会内の関係づくりにも有益。
- ・意見交換を進行するファシリテーターが4名いたことで、意見も出しやすく、議論が広がったのではないと思う。
- ・会社や立場が異なる方々と議論することで、自分では全く考えていなかったような考えを知ることができた。特に上司側の考えを知ることで、“自分の上司ももしかしたらあの時こう考えていたのかな”と自身の行動を顧みるきっかけとなった。
- ・何かを頼むときに上司側もいろいろなことを考慮したうえで判断していることを知ることができたことが大変良かった。女性としてはその背景がわからないために、どうせ女性だから頼まれたのだと思ってしまわないかとグループワークを通じて感じた。毎回やる必要はないが、上司側はなぜその人に頼んだのかを本人に伝える、部下側もなぜ私ばかり頼まれるのかと不満をため込む前に、上司になぜ自分に頼んだのかを聞き、互いにコミュニケーションをすることで部下のモチベーションUPや上司との信頼関係につながる気ができた。

2. 今回のセミナー・グループワークで得た知識、気づきなどについては、今後ご自身で具体的にどのようなアクションにつなげたいとお考えですか？

■今後のアクションについて：男性上司からの主な回答

- ・会社で同様のグループワークを提案したい。
- ・自社で実施する管理職研修などで部下への対応/仕事の振り方に偏りがないか意識して行動をとってもらえるような働きかけをしたいと考えている。
- ・思い込み、職場の多様化、男女間の考え、見方の違いを意識し、女性社員に対して、コミュニケーションを常にとり、人材育成、業務を行う上において、活用したいと思う。また、**女性のみならず、今回の気づきを男性社員にも、伝える事が必要と思った。**
- ・実際の職場や生活で女性と接する中で、そこにどんなアンコンシャスバイアスがあるのか、積極的に考えるようになった。今まで常識だと思い込んでいたものの中には、実は非常識なものも多く潜んでいると思う。これからは、普段の生活や業務の中に潜む「思い込みによる非常識」をよく考えて、見つけて、ひとつひとつ改善していきたい。

■今後のアクションについて：NWメンバーからの主な回答

- ・自社で同じような機会を設けて広めていきたいと思う。
- ・ワークライフバランスは、仕事・家庭や私生活の質や相乗効果を生み出すとの考え方を時々意識する。依頼する時は、理由や目的を相手の納得につながるよう伝える。お互いに理解や納得が得られるよう、今迄以上に、相手の良さを伝えながら、自分からコミュニケーションの量を増やすと共に質を上げる。
- ・自分にとっての当たり前は相手にとっては違うかもしれないという前提で業務に取り組み、すれ違いを防ぎたいと思う。
- ・誰かに業務をお願いするときは、相手の長所やよかった点も含めた感謝の気持ちをしっかりと伝えたることを心掛けたい。また学んだ内容は部門内で共有していきたい。
- ・自分の部下の状況や性格などはわかっているつもりでいたが、信頼の上に成り立っていることなので、相手の価値観を否定せず、より一層の会話やコミュニケーションを行っていきたい。(論破しない)
- ・セミナー内容を報告書にまとめ全社員にメールしたところ、社長からもお声かけ頂き、女性社員とのコミュニケーションや無意識の偏見について社長と話をすることができた。(バルブ女史の活動を通じて伝えるきっかけとなった)
- ・誰もが持っている「アンコンシャスバイアス」について、具体的な対処法を知ることができた。職場の上司にセミナーの感想、自身の業務における今後の改善点を伝えるとともに、**職場で「アンコンシャスバイアス」の存在を感じた時、論拠を持って周囲に働きかけられるようになりたい**と思った。

以上